Creative Enzymes®

エリザベスキンギア・ミリコラ由来のエンドグリコシダーゼ F1、組換え型

Cat. No. NATE-0214

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エンドグリコシダーゼは、糖タンパク質や糖脂質からオリゴ糖を放出する酵素です。末端残基でない残基の間で多糖鎖を切断することもありますが、結合したタンパク質や脂質分子からオリゴ糖を放出することが一般的です。これは、ポリマー内の2つの糖モノマー間のグリコシド結合を切断します。末端残基で切断しない点でエクソグリコシダーゼとは異なります。したがって、結合した分子から長い炭水化物を放出するために使用されます。エクソグリコシダーゼを使用した場合、ポリマー内のすべてのモノマーを一つずつ鎖から取り除かなければならず、時間がかかります。エンドグリコシダーゼは切断を行い、ポリマー製品を生成します。
用途	アスパラギンに結合したまたは自由なオリゴマンノースおよびハイブリッドのオリゴ糖を切断しますが、複□なオリゴ糖は切断しません。エンドグリコシダーゼは、糖タンパク質や糖脂質からオリゴ糖を放出する酵素です。また、末端残基でない残基間の多糖鎖を切断することもありますが、結合したタンパク質や脂質分子からオリゴ糖を放出することが一般的です。ポリマー内の2つの糖モノマー間のグリコシド結合を切断します。末端残基で切断しない点でエクソグリコシダーゼとは異なります。したがって、結合した分子から長い炭水化物を放出するために使用されます。エクソグリコシダーゼを使用した場合、ポリマー内のすべてのモノマーをチェーンから1つずつ取り除かなければならず、時間がかかります。エンドグリコシダーゼは切断し、ポリマー製品を生成します。
別名	エンドグリコシダーゼ; エンド F1; エンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼ F1; Chryseobacterium meningosepticum 由来のエンドグリコシダーゼ F1; Elizabethkingia meningoseptica 由来のエンドグリコシダーゼ F1; Flavobacterium meningosepticum 由来のエンドグリコシダーゼ F1; エンドグリコシダーゼ F1; EC 3.2.1.96; 231-791-2

製品情報

種	エリザベスキンギア・ミリコラ
由来	E. coli
形態	緩衝水溶液、無菌充填された20 mM Tris-HCl pH 7.5の溶液
EC番号	EC 3.2.1.96
CAS登□番号	231-791-2
活性	> 16 U/mg、緩衝された水溶液
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 5.5で□性リボヌクレアーゼBの1μmoleからN-結合オリゴ糖を1分で放出します。

使用法とパッケージング

包装	5× 反□バッファー、250 mM NaH2PO4、pH 5.5 が供給されています。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C